

22.5.31

佐倉市

教育センターだより

Vol.21

平成22年5月31日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

「形」から「共有化」へ、そして「形」へ

所長 佐久間 保男

佐倉市教育センターは、本年4月で8年目を迎えました。教育センターの業務は、幼稚園・小中学校・関係各機関等の協力を得て、成り立つものです。昨年度、調査研究を行い情報提供や結果分析による対応策や改善のための情報をできる限り示していきたいと考え、取り組んできました。しかし、情報を提供することに主眼がいつてしまったかもしれません。その後の調査確認の部分で力を入れていく部分が多分にあったことを反省しています。

そこで今年度は、昨年と同様に調査・研究を行い、児童生徒の実態を的確に分析していきますが、その他に①情報提供後の実態把握を行う。②「簡単に直ぐ使え、教室で出来る」ということをコンセプトとした、情報・資料等を不定期ではありますが、配布ができればと考えています。出来ることから少しずつ行っていきます。考えているだけでは物事の進歩はありません。考えを「形」にしてこそ意義が生じてくるものです。今年度は、「形」にするということテーマに運営をしていきます。そして、形にした物が佐倉市内で共有化できればと思います。

話は少々変わりますが、教育機関からの紀要等の冊子が送付されてくることがあります。どれも特色があり、読み応えのあるものです。この冊子を読んでみると、「学習指導要領の改訂」についてのくどりが非常に多いことに気づきます。移行期間を経て、小学校は平成23年度・中学校は平成24年度から完全実施になるわけですから、当然と言えます。各学校においても指導計画の見直しが始まっていることと思います。簡単なことではなく、試行錯誤しながら行っているのではないのでしょうか。

指導計画を作成する時に、教科主任や学年が中心となり行い、これに研究主任や教務主任が関わり、完成させていくという流れが多いのではないのでしょうか。これも自然な形だと思えます。

今回は、指導計画の作成段階で、様々な立場の方の意見を聞くという「場」を設けてみてはどうでしょうか。学年や教科を異にした人にも、意見をもらうということを行うことによって、色々な角度から見てもらい指導計画を作成（「形」）することが必要だと感じます。

目の前にいる児童生徒をどのように「育て」るのか。教科・領域の目標を明確にし、それを達成するために形にしていかなければなりません。教育は、「意図的・計画的」に行うためのものであり、指導計画は、そのための基になるものです。

形にするためには、情報の共有化を行っていくことが大前提です。この「共有化」が「共通理解」という言葉で示されるものです。形を作るために共有化し、新たな形にしていくこのことが教育では大切なことです。途切れることがあつては、教育は成立しません。指導計画作成時に試みていただくことを切に望んでいます。

平成22年度の主な年間計画

- | | | | |
|----|---|-----|--|
| 4月 | 教育相談開始 センター調査研究計画確認 | 9月 | 全国・学力学習状況調査の佐倉市の分析 佐倉市教育センターだよりVol.22発行 |
| 5月 | 佐倉市教育センターだよりVol.21発行 | 10月 | 千葉県教育研究所連盟研修会(年4回) |
| 6月 | 佐倉市学習状況調査作成委員会(年4回) 佐倉市教育センター連絡会議(年6回) 家庭学習に関する調査実施 | 12月 | 佐倉市学習状況調査(～1月) |
| 7月 | 教育相談基礎講座(年3回) 佐倉学道徳副読本編集委員会(年3回) | 1月 | 佐倉市教育センターだよりVol.23発行 今年度実施の調査のまとめ |
| | | 2月 | 佐倉市教育センター等報告会 |
| | | 3月 | 佐倉市教育センター報告書発行 |

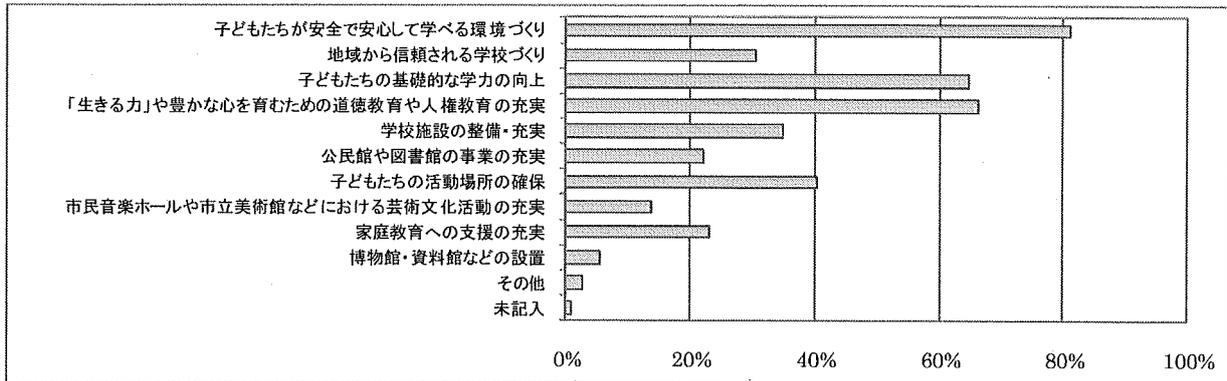
※教育相談、就学相談、教職員相談、情報資料収集は年度を通して実施。

市民の教育に関する意識調査の結果報告(概要)

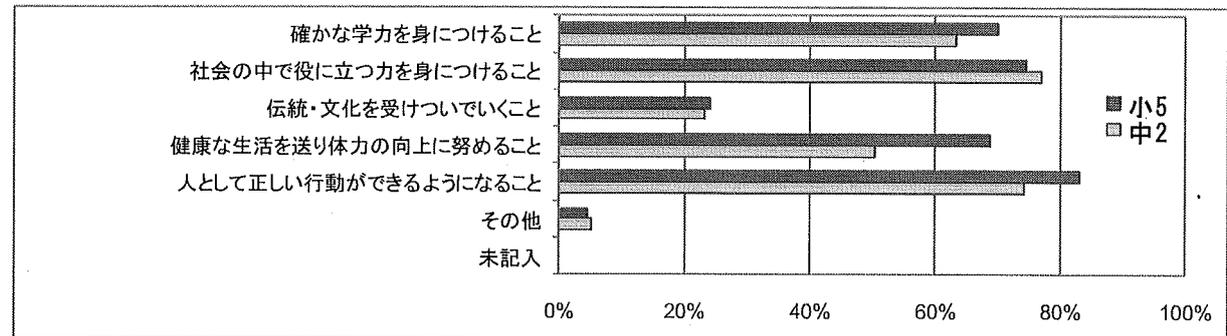
昨年度、次期佐倉教育ビジョン策定にあたり、市民の考えを広く取り入れ、市民とともに佐倉のあるべき教育の姿を明らかにするとともに、教育ビジョン策定のための基礎資料とすることを目的として市内の抽出校の小学校5年生と中学校2年生(833名)とその保護者(846名)に調査を行いました。その調査結果の中で、学校教育に関連する質問項目の結果を報告します。今後の教育課程編成や児童生徒への具体的な指導の際の参考にさせていただきたいと思います。

◎佐倉の教育のめざす方向について

【質問】佐倉の教育において、今後、どのような施策に重点的に取り組んでほしいですか？(保護者対象)

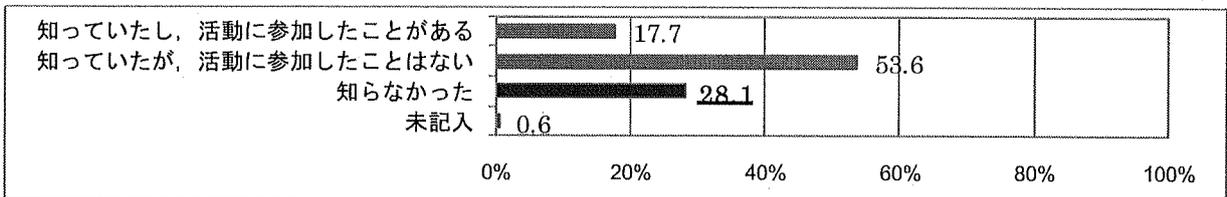


【質問】学校や家庭でどんなことを学ぶことが大切だと思いますか？(児童・生徒対象)

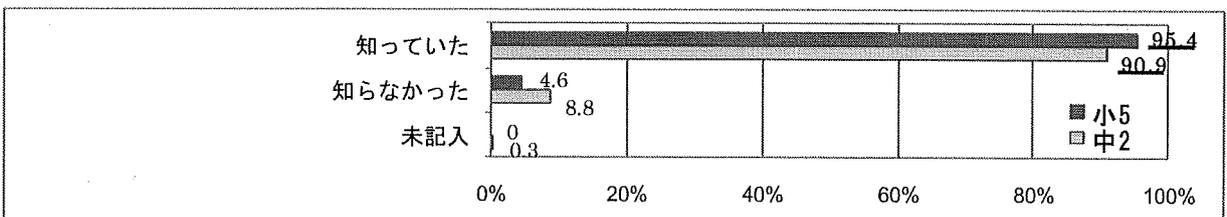


◎登下校の安全を見守るボランティアについて

【質問】「アイアイプロジェクト活動」についてご存知でしたか？(保護者対象)

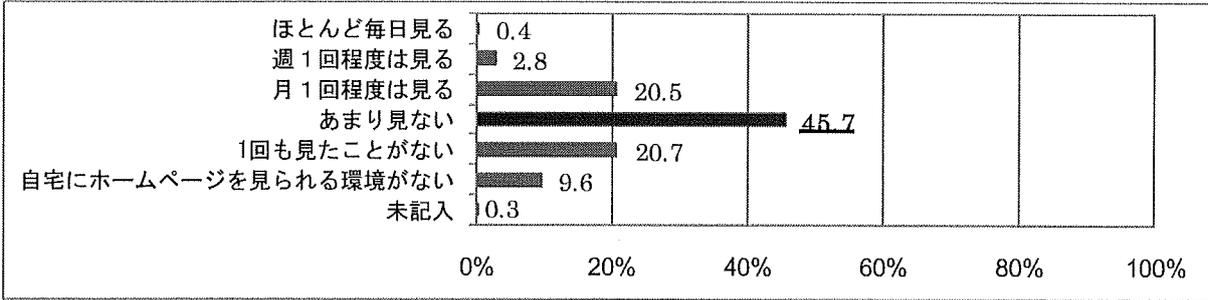


【質問】保護者や地域の方たちが、登下校時の安全を見守る活動をしてくださっているのを知っていましたか？(児童・生徒対象)

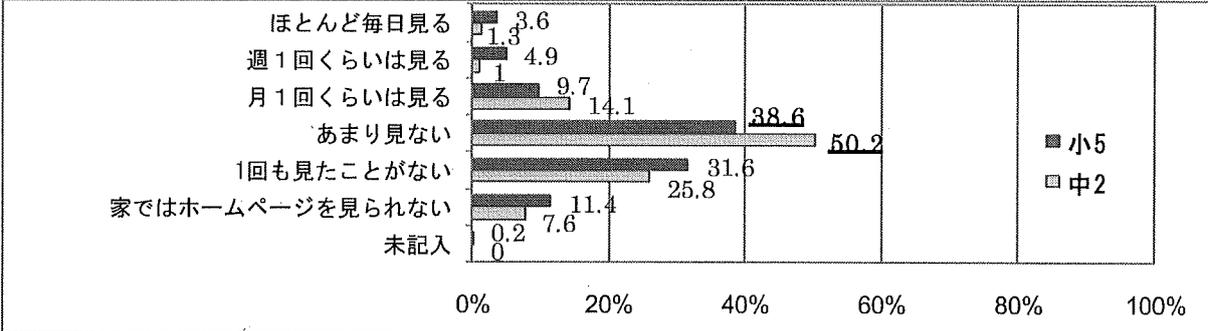


◎小中学校のホームページについて

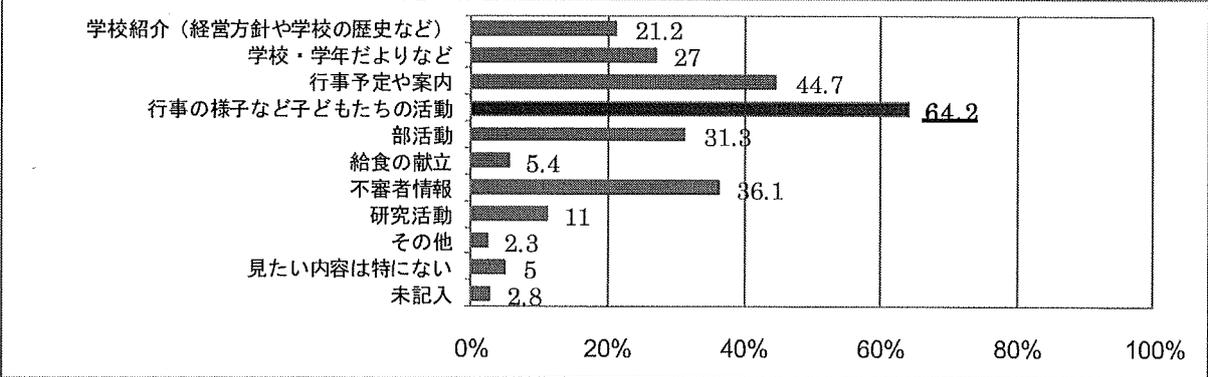
【質問】佐倉市の小中学校のホームページをご覧になったことがありますか？（保護者対象）



【質問】佐倉市の小中学校のホームページを見たことがありますか？（児童・生徒対象）



【質問】ホームページでご覧になりたい内容は何か？（保護者対象）



《考察》

◎佐倉市の教育のめざす方向について

保護者の多くが望んでいるのは「子どもたちが安全で安心して学べる環境づくり」である。安全面での施策は佐倉市はもとより各学校も独自の取り組みが充実している。「安心」の意味は広く捉えられるだけに、各学校での取り組みも難しい面がある。

児童生徒の上位は「人として正しい行動ができるようにすること」「社会の中で役立つ力を身につけること」である。保護者でも上位に挙げられている「道徳教育」の充実が望まれている。

◎登下校の安全を見守るボランティアについて

「アイアイプロジェクト活動」の取り組みについて、児童生徒の9割以上が認知しているのに対して、保護者の3割近くが「知らなかった」と回答をしている。保護者が望む「安全の確保」に対応した努力が肝心の保護者に周知されていないのは残念である。ボランティアで活動して下さっている方々への感謝の思いをより大きくするためにもさらなる周知の必要がある。

◎小中学校のホームページについて

保護者の7割、児童生徒の8割が「あまり見ていない」「1回も見たことがない」という回答であった。各学校がホームページを充実させている中で、保護者や児童生徒がホームページを「見たくなる」「見る必要がある」という広報活動にも力を入れていく必要もありそうである。

基礎学力向上のための指導のポイント

平成21年度「佐倉市学習状況調査」の結果から

佐倉市では、市内の全小中学生を対象に、学習状況の現状と課題を明らかにし、各学校が基礎的、基本的な学習内容の確実な定着を目指し指導内容や方法、評価の工夫改善を図るための資料を得ることを目的として、学習状況調査を実施しています。平成21年度の調査結果から、特徴のあるデータの一部を紹介し、基礎学力向上のための指導のポイントについて述べたいと思います。

小学校国語

**継続(低)・習慣(中)・活用(高)
を図っていくことがポイント!**

| 学年 | 正答率が80%以下の漢字の書く問題 |
|----|--------------------------------------|
| 1年 | ※読みの問題 五つ(いつつ)・一日(ついち) |
| 2年 | 下げる |
| 3年 | 親切・兄弟・帰る・晴れる |
| 4年 | 二階・旅行・歯科・短い・寒い |
| 5年 | ※80%以下はありませんでしたが、正答率が低かった漢字 栄養・記録 |
| 6年 | 祖母・豊富・省略・貿易・破れる |

小学校国語の漢字を書く問題で正答率の低かった問題は、左に示したとおりです。

漢字練習はどの学校でも工夫して取り組んでいることと思います。発達段階に応じた指導の工夫・支援が大切だと考えます。

そこで、低学年では、ていねいな指導と学習意欲が継続するような指導を図っていくこと。中学年では、既習の漢字で形や音が似ている漢字と間違えず正しく使えるような指導を図っていくこと。高学年では様々な文章にふれ、語彙を増やしていくとともに、自分の書く文章の中で確実に使えるような指導を図っていくこと等が考えられます。

具体的な指導のポイント

低学年;日記を書く・音読による発音・発声等による**継続化**
 中学年;国語辞典を日頃の授業で活用する等による**習慣化**
 高学年;ノート指導・作文指導によるきめ細かな指導による**活用**

小学校算数

**算数的活動のより一層の充実化
がポイント!**

| 学年 | 問題 | 正答率 | 主な誤答例 |
|----|---------------------|------|---------|
| 1年 | 9-3-1 | 91.4 | 7 |
| 2年 | 121-58 | 88.5 | 62 |
| 3年 | 4586- 1389 | 87.9 | 3107 |
| 3年 | かかった時間は何分 | 50.0 | 70 |
| 4年 | 712÷44 | 77.0 | 16・・・18 |
| 4年 | 1㎡=□cm ² | 72.8 | 100 |
| 5年 | 4÷0.8 | 74.5 | 0.5 |
| 5年 | 59.2÷ 3.7 | 75.3 | 1.6 |
| 6年 | 3÷1/4 | 77.2 | 1/12 |

小学校算数の調査問題で正答率の低かった問題は、左に示したとおりです。3年生まではひき算、4年生以上ではわり算でつまずきが多いことがわかります。小学校2年生でかけ算が加わりますが、かけ算の正答率は高いです。

また、「時間」「かさ」「長さ」「面積」「体積」等、単位の換算や求める問題では、やや正答率が下がる傾向がありました。日常生活の中で、より具体的に活用できるようになっていくことも必要と考えます。

具体的な指導のポイント

・基礎的・基本的な知識及び技能の習得

授業時間内の指導等の工夫やドリル学習の活用、家庭学習の習慣化を図っていくこと

・算数的活動のより一層の充実

具体物を利用し、学習のイメージ化を図り、ていねいな指導を図っていくこと

中学校国語

授業時間内の工夫・改善を図り、継続・習慣・活用を図っていくことがポイント！

| 学年 | 正答率が80%以下の漢字の書く問題 |
|----|--------------------|
| 1年 | 分担・値段・批判・延長・熟語・訪ねる |
| 2年 | 方針・資源・創立・座る |
| 3年 | 干上がる・欲しがる・巻く |

中学校国語の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。生徒が普段あまり使わない漢字につまずきが多かったことがわかります。漢字の書きは「中学校学年別配当漢字の範囲表」から出題されています。各学校において十分活用していただきたいです。

具体的な指導のポイント

- ・授業時間内の指導等の工夫による**継続化**
例えば、授業時間内の5分は漢字学習に充てる等の工夫
- ・ノート指導・作文指導をとおしての**習慣化**
きめ細かく日常的に漢字を正確に書き活用する等の工夫
- ・中学校学年別配当漢字表の**活用**
長期休業中における指導の活用(練習・テストによる定着化)

中学校数学

文字式の計算についての指導がポイント！

| 学年 | 問題 | 正答率 | 主な誤答例 |
|-----|---------------------------|------|--------|
| 1年 | $(8x+5)-(4x+3)$ | 53.1 | $4x+8$ |
| 2年 | $8x-2y=6$ を y について解く | 51.5 | 無解答 |
| 3年 | $x^2=81$ | 62.0 | 9 |
| 全学年 | 比例・一次・二次関数のグラフの問題 | | |

中学校数学の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。中学校では、抽象的な考え方をを用いる場面が小学校より多くなってくるうえ、負の数や平方根の導入など、数の世界が大きく広がることからつまずきが多くなることがわかります。

算数・数学は積み重ねの教科であり、学び直しの機会を意識した授業を展開することが大切です。また、できる限り具体物を用いて、ていねいに指導していくことが望まれます。

具体的な指導のポイント

- ・**学び直しの機会**を意識した授業時間の工夫
基礎的・基本的な計算処理を確実に身に付くような工夫
- ・**思考力・判断力・表現力等**をはぐくむ工夫
自分の言葉で説明・日常生活との関わりを意識した授業の工夫

中学校英語

「読むこと・書くこと」についての指導がポイント！

| 学年 | 問題 | 正答率 | 主な誤答例 |
|----|---|------|--------|
| 1年 | When is (her) birthday. | 36.7 | She's |
| 2年 | Mary called me (when) I was Studying. | 48.3 | その他の誤答 |
| 3年 | He is a photographer(who・that)took many beautiful pictures. | 58.1 | 無解答 |

中学校英語の問題で正答率が低かった問題は、左に示したとおりです。適語補充の問題で正確に単語を書けないためのつまずきが多かったことがわかります。その他の誤答や無解答が多いことも課題です。新学習指導要領においては「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」を明示することで、小学校における外国語活動ではぐくまれた素地の上に、これらの4つの技能を総合的に育成することとしています。また、言語活動の充実を通じて言語材料の定着を図るとともに、コミュニケーション能力の一層の育成を目指しています。

生徒の実態を把握し、身につけなければならない基本的文法事項について、ていねいに指導するとともに、じっくり振り返る時間を定期的に設けることが大切です。

基礎学力向上のためには、学年や教科担当に任せるのではなく、学校全体で組織的に取り組むことが大切です。教育センターでも、各学校における分析や具体的手立ての作成に、積極的に協力していく所存です。(水嶋 智巳)

平成22年度

教育相談活動

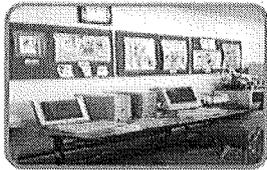
佐倉市教育センターでは、不登校児童生徒に対する支援活動や発達相談の充実を図っています。教職員の皆さんは、まず、校内の管理職や特別支援コーディネーターに相談してみましょう。必要に応じて教育センターに連絡をとり、児童・生徒によりよい支援ができるようにしてください。そのために教職員の皆さんにも佐倉市の教育相談活動の内容やしくみの概要を理解しておいていただきたいと思います。

〈適応指導教室（志津・佐倉）〉

保護者の方や学校と連絡を取り合い、適応指導教室への通級を通して支援しています。教育相談や学習支援、グループ活動を通し、学習や集団生活への適応を促し、学校復帰に向けての支援を行っています。学習活動だけでなく軽スポーツやレクリエーション、作業活動、体験活動等も行っています。通級希望等の連絡はまず教育センターにお願いします。

〈発達相談〉

発達障害がある（または疑われる）ために不適応を起こしている年長児、児童・生徒を支援していくために、保護者や学校からの電話相談を行っています。また、必要に応じて面談・検査をセンターで行っています。臨床発達心理士やことばの専門家が学校教育相談員として支援にあたります。



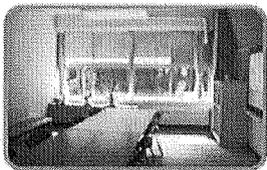
適応指導教室（志津） 不登校傾向のある児童生徒への支援の場として…

- ・ 佐倉市上志津1672番地 電話043-489-1002
- ・ 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）
- ・ 通級児童・生徒の活動時間は午前10時～午後3時です。



適応指導教室（佐倉）・教育電話相談室

- ・ 佐倉市栄町8番地6 電話043-484-6611
- ・ 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）
- ・ 通級児童・生徒の活動時間は午前10時～午後3時です。
- ・ 教育電話相談室の相談時間は午前9時から午後4時までです。



発達相談（教育センター内） 教育的ニーズに応じた支援をするために…

- ・ 佐倉市将門町7番地 電話043-486-2400
- ・ 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）
- ・ 午前10時～午後4時

編集後記

新年度が始まって2ヶ月たちました。進級、入学で環境が変わった子供たちも、ようやく新しい生活に慣れたことと思います。今回のセンターだよりは市民の教育に関する意識調査の結果報告、基礎学力向上をテーマに掲載させていただきました。子供たちを支えていくヒントになれば幸いです。

平成21年度末の人事異動に伴い、西村隆徳指導主事に代わり、水嶋智巳指導主事、三星典子指導主事が着任いたしました。今年度も佐倉市教育センターへのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。